

2019年3月期 第1四半期決算説明

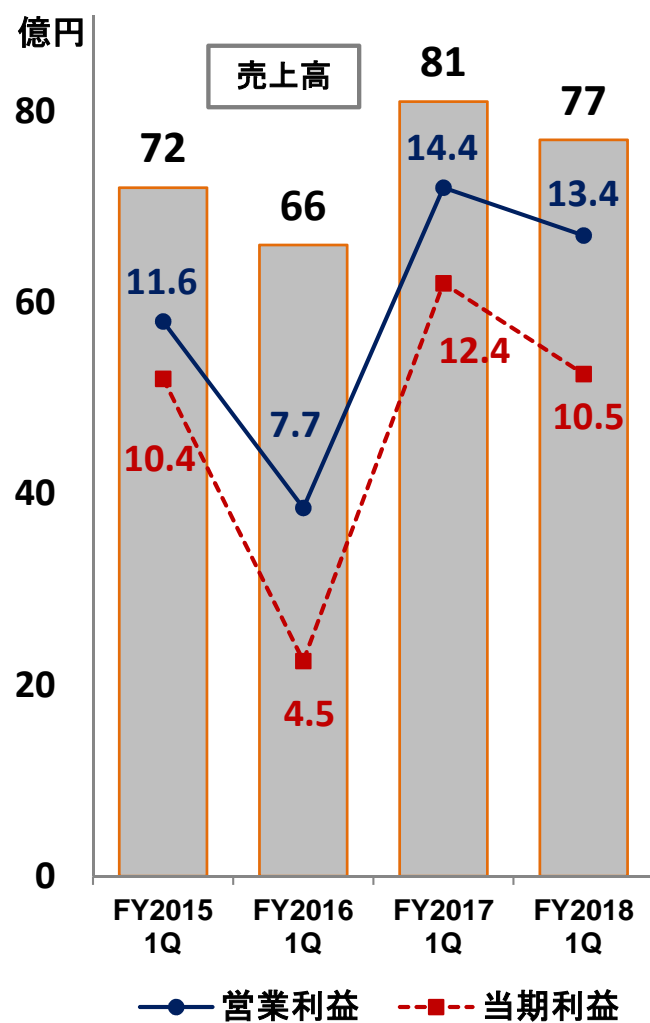
2018年8月6日

 山一電機株式会社

ご説明内容

- 【1】 FY2018/1Q業績結果
- 【2】 FY2018業績見込
- 【3】 2017～2019年度 中期経営計画の取り組み

FY2018/1Q業績結果

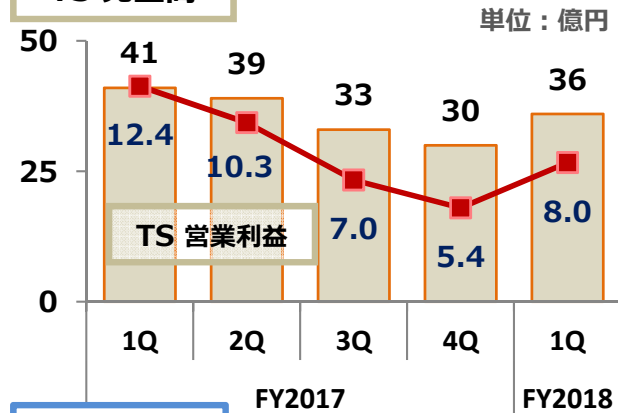


単位: 億円	FY2017 /1Q 実績	FY2018 /1Q 実績	前年同期比	FY2018 /1H 期初予想	期初予想 進捗率
売上高	81	77	▲ 4	157	49%
営業利益	14.4	13.4	▲ 1.0	21.7	62%
経常利益	14.6	14.0	▲ 0.6	21.2	66%
当期純利益	12.4	10.5	▲ 1.9	17.0	62%
EPS (円)	57.40	46.62	▲ 10.78	75.29	—
BPS (円)	891.02	978.86	87.84	—	—
ROE (%)	6.6	4.8	▲ 1.8	—	—

為替レート	FY2017/1Q	FY2018/1Q	増減
USDレート (円)	111.12	109.07	-2.05
EURレート (円)	122.12	130.06	7.94

FY2018/1Q事業別業績結果

TS 売上高

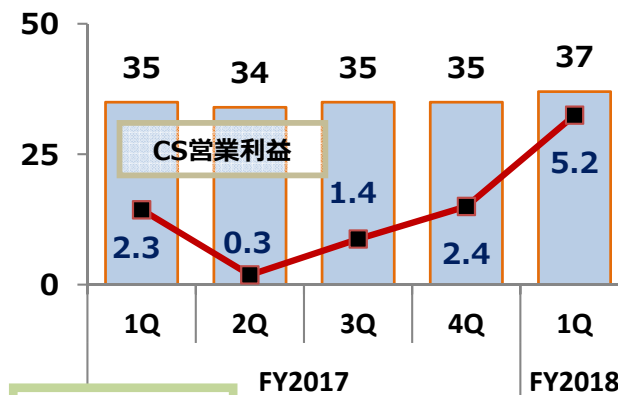


TS事業 : スマートフォン向けNAND用ソケット他で生産調整の影響。

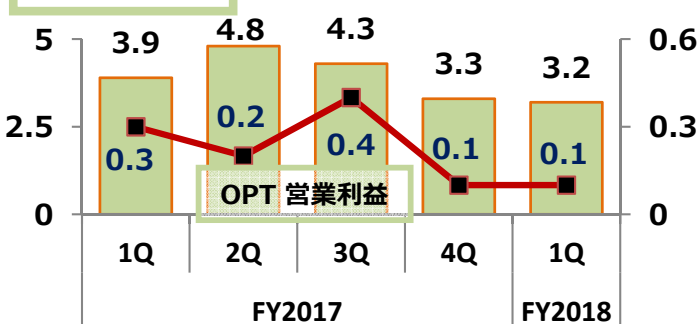
CS事業 : 産機・通信向けが順調に推移。原価低減活動の効果大。

OPT事業 : 光通信機器・産業機器向け堅調。一部製品が生産調整。

CS 売上高



OPT 売上高



単位: 億円

		FY2017 /1Q 実績	FY2018 /1Q 実績	前年同期比	FY2018 /1H 期初予想	期初予想 進捗率
TS事業	売上高	41	36	▲ 5	73	49%
	営業利益	12.4	8.0	▲ 4.4	14.4	56%
CS事業	売上高	35	37	2	75	49%
	営業利益	2.3	5.2	2.9	6.4	81%
OPT事業	売上高	3.9	3.2	▲ 0.7	9.0	36%
	営業利益	0.3	0.1	▲ 0.2	0.7	14%
その他	営業利益	* ▲0.7	* ▲0.02			

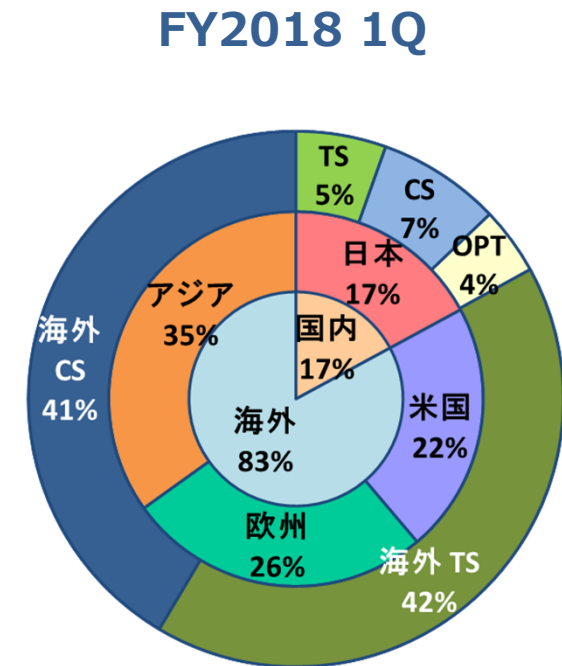
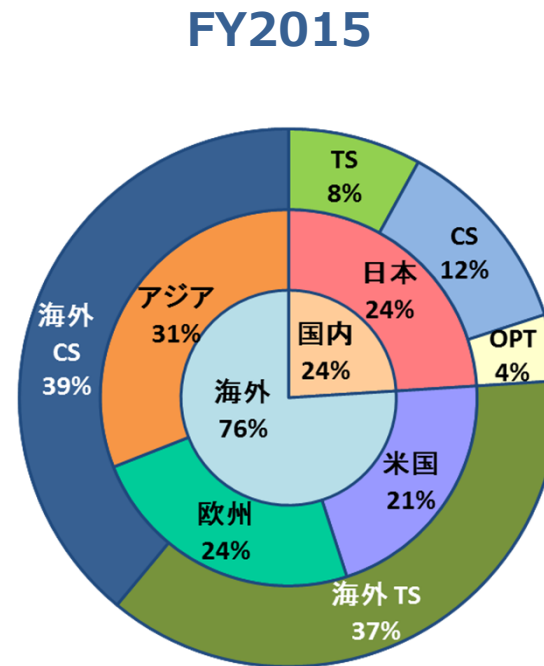
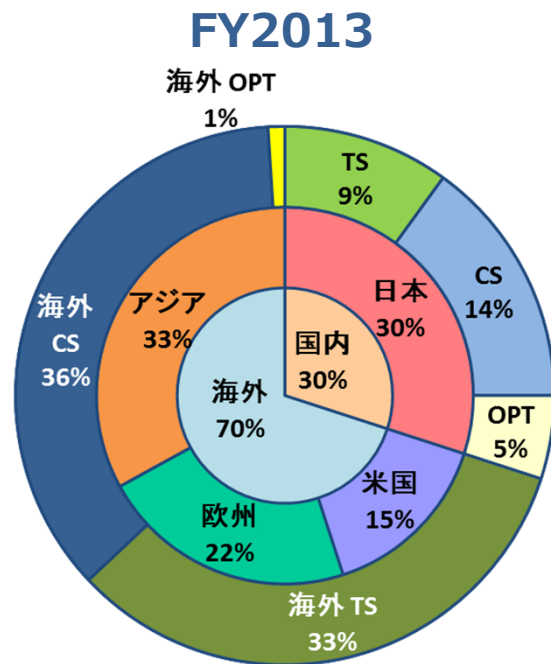
注記: *の▲は連結調整額

貸借対照表

単位：億円	2017.6末	2018.3末	2018.6末	前期末比 増減
流動資産	159.1	178.0	175.3	▲ 2.7
現金及び預金	56.5	71.8	60.2	▲ 11.6
受取手形・売掛金・電子記録債権	60.4	57.9	64.5	6.6
棚卸資産・その他資産	42.2	48.1	50.5	2.4
固定資産	126.6	126.2	123.9	▲ 2.3
有形固定資産	100.2	97.5	97.0	▲ 0.5
無形固定資産	0.9	1.2	1.1	▲ 0.1
投資・その他資産	25.3	27.5	25.7	▲ 1.8
資産合計	285.7	304.3	299.3	▲ 5.0
流動負債	76.8	68.6	66.2	▲ 2.4
支払手形・買掛金	18.8	16.7	18.0	1.3
短期借入金	35.4	24.3	24.1	▲ 0.2
その他負債	22.5	27.5	24.0	▲ 3.5
固定負債	14.8	13.8	12.9	▲ 0.9
負債合計	91.6	82.4	79.1	▲ 3.3
株主資本	194.7	222.5	220.5	▲ 2.0
純資産合計	194.1	221.8	220.1	▲ 1.7
負債純資産合計	285.7	304.3	299.3	▲ 5.0

配当 : 6.8億
 自社株買付 : 5.0億

海外売上高比率



海外売上比率：83% 欧州・米国・アジアとも増加（FY2013対比）

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018 1Q
TS事業の海外売上比率	79%	82%	82%	82%	83%	88%
CS事業の海外売上比率	69%	72%	77%	80%	84%	84%

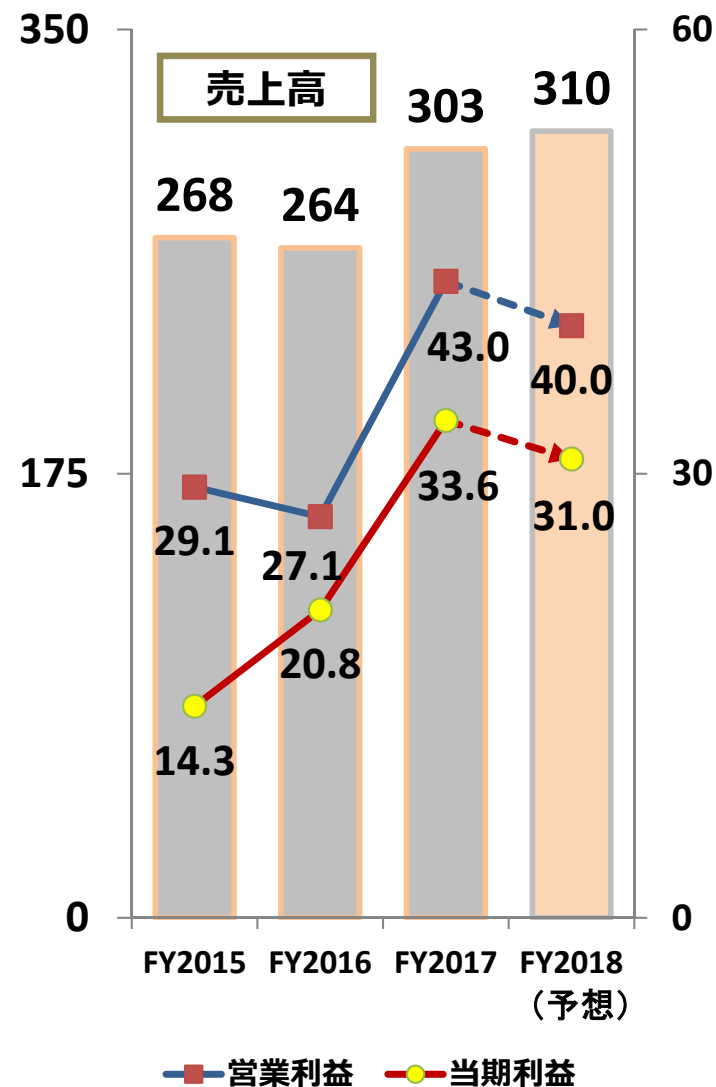
ご説明内容

- 【1】 FY2018/1Q業績結果
- 【2】 FY2018業績見込
- 【3】 2017～2019年度 中期経営計画の取り組み

業績予想 1H&通期

期初予想から変更無し

単位：億円



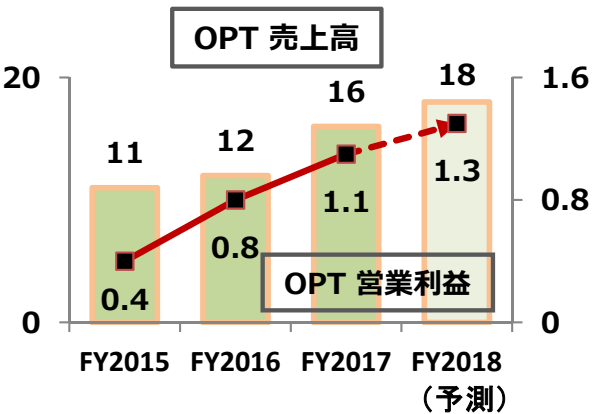
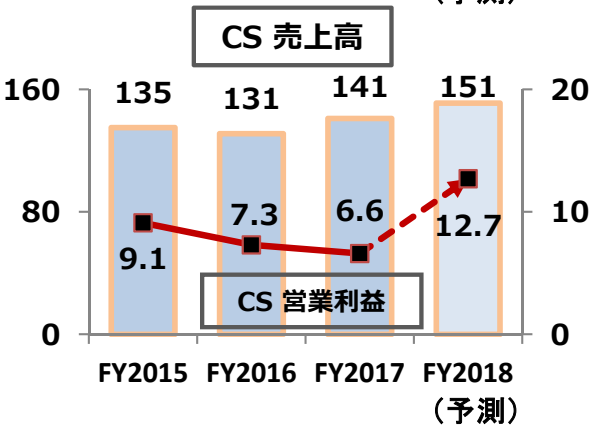
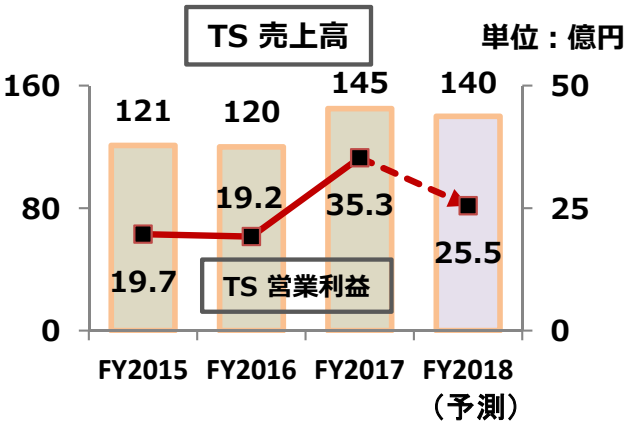
単位：億円

	FY2017		FY2018 (予想)			
	上期	通期	上期	前期比	通期	前期比
売上高	160	303	157	▲ 3	310	7
営業利益	25.8	43.0	21.7	▲ 4.1	40.0	▲ 3.0
経常利益	26.4	42.9	21.2	▲ 5.2	39.0	▲ 3.9
当期純利益	21.8	33.6	17.0	▲ 4.8	31.0	▲ 2.6
EPS (円)	99.85	151.23	75.84	▲ 24.01	138.65	▲ 12.58
BPS (円)	948.95	973.56	—	—	—	—
ROE (%)	11.0	16.7	—	—	—	—

為替レート	FY2017	FY2018	増減
USDレート (円)	110.85	107.00	▲ 3.85
EURレート (円)	129.68	130.00	0.32

事業別業績予想 1H & 通期

期初予想から変更無し



単位: 億円	売上高				営業利益			
	FY2017		FY2018 (予想)		FY2017		FY2018 (予想)	
	上期	通期	上期 (前期比増減)	通期 (前期比増減)	上期	通期	上期 (前期比増減)	通期 (前期比増減)
TS事業	81	145	73 ▲ 8	140 ▲ 5	22.7	35.3	14.4 ▲ 8.3	25.5 ▲ 9.8
CS事業	70	141	75 5	151 10	2.6	6.6	6.4 3.8	12.7 6.1
OPT事業	8.8	16.4	9.0 0.2	18.0 1.6	0.6	1.1	0.7 0.1	1.3 0.2
その他*	---	---	---	---	▲ 0.2	▲ 0.0	0.1 0.3	0.3 0.3
合計	160	303	157 ▲ 3	310 7	25.8	43.0	21.7 ▲ 4.1	40.0 ▲ 3.0

注記: *は連結調整額

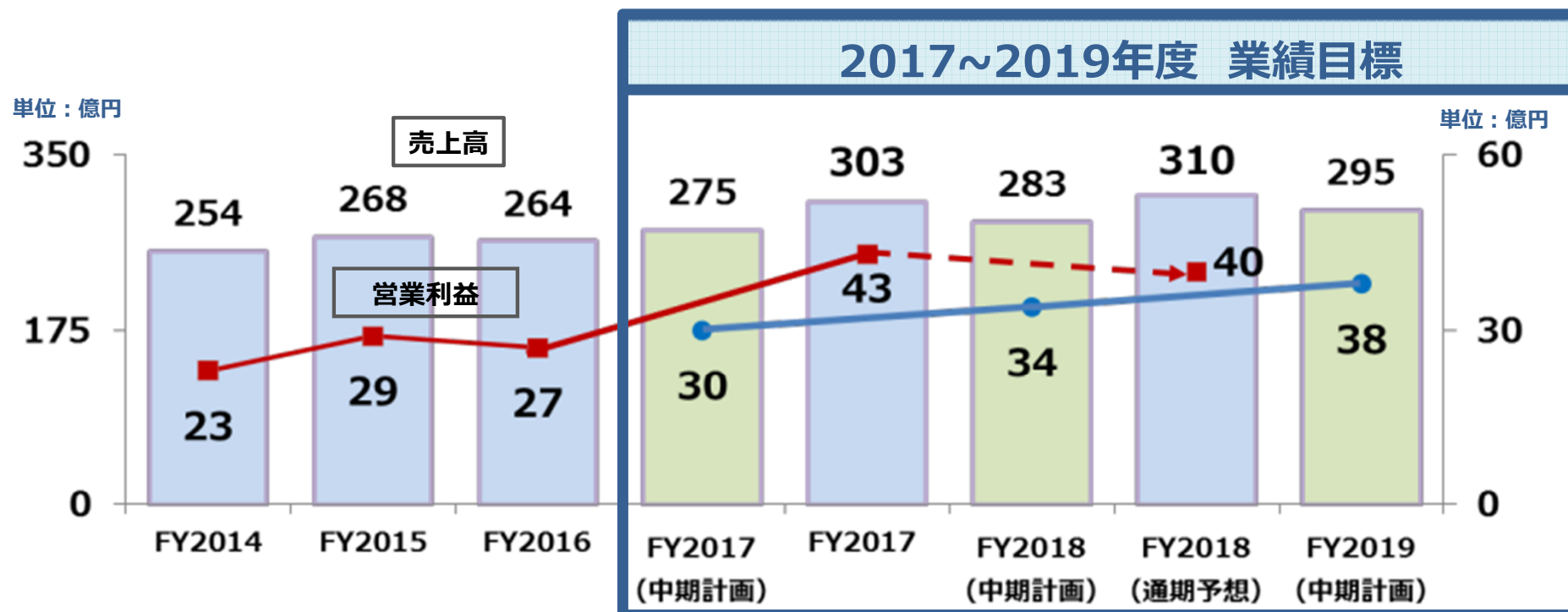
ご説明内容

- 【1】 FY2018/1Q業績結果
- 【2】 FY2018業績見込
- 【3】 2017～2019年度 中期経営計画の取り組み

中期経営計画の進捗状況

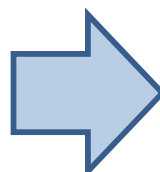
目標：売上高 853億円、営業利益 102億円

⇒17年度 売上35%、営業利益42% 進捗



中期計画目標値

ROE	10.0%以上
配当性向	30.0%を目指す
設備投資	70.0億円 (3カ年)



2017年度実績

ROE	16.7%
配当性向	23.1%
設備投資	20.3億円

2018年度計画

ROE	10.0%以上
配当性向	30.0%を目指す
設備投資	22.8億円

1Q実績

ROE	4.8%
配当性向	----
設備投資	2.6億円

中期経営計画

2017~2019年度 経営目標

お客様と共にグローバルに連携し 未来につながる製品の創造

山一電機が目指す方向

お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社に成長



★ 2019年度末 中期経営計画のゴール

- ・ T S 事業を柱に事業を進め、グローバルニッチ T O P 製品を創出し、成長し、C S 事業が第 2 の柱に成長する
- ・ グローバルの効率化を追求し、競争力を持った個性ある企業に成長する

中期経営計画 基本戦略

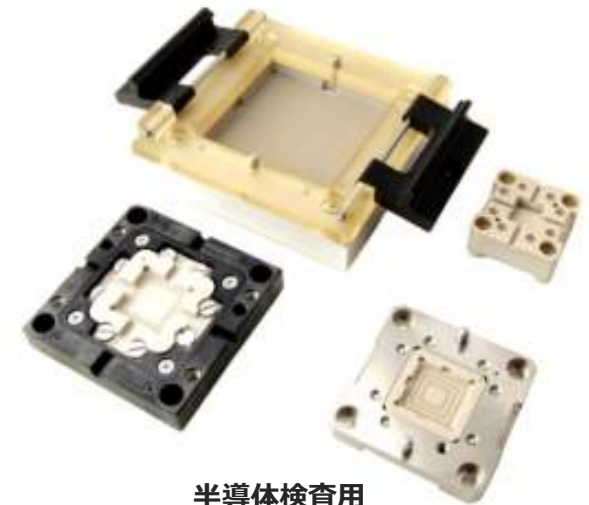
成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

グローバル連携の強化

1. 『ユニークな製品、差別化した製品の開発』
2. 『伸びる市場/地域・元気な顧客・儲かる製品』

構造改革：グループの効率化を更に追求

1. グローバル管理体制強化
2. グローバルのモノづくりの効率化推進
3. グローバルシステムの強化



半導体検査用
テストソケット



光トランシーバ用コネクタ

中期経営計画 成長戦略

「伸びる地域・市場、元気な顧客、儲かる製品」と「ユニークな製品、差別化した製品の開発」をキーに

技術力の強化とグローバルニッチTOP製品の創出

TS事業

- ・新技術へのタイムリーな対応によるシェア拡大
- ・新市場、新規顧客開拓による販売拡大
- ・グローバル連携強化による顧客サービスの向上



個別温度制御用
バーンインソケット



大電流IC用
バーンインソケット



半導体検査用
テストソケット

CS事業

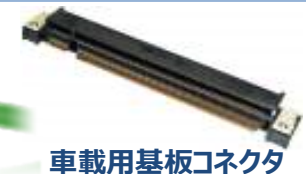
- ・グローバルニッチTOP製品の創出
- ・通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充



光トランシーバ用コネクタ



産業機器用
丸型コネクタ



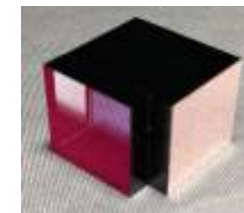
車載用基板コネクタ



車載用同軸コネクタ

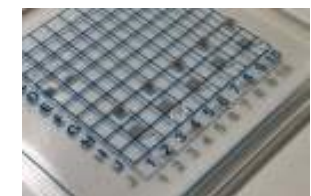
OPT事業

- ・顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- ・事業領域の拡大と技術力の向上



医療用赤外線カメラ搭載プリズム

デジタルコヒーレント光通信用ビームスプリッタ&ミラー



中期経営計画 構造改革

グループの効率化を更に追求し

➡ グローバル体制を強化し ➡ 競争力を強化

1. SCMの強化

2. YEC製品のグローバル管理体制強化 ⇒ グローバルでの販売強化

- ① 開発製品情報の共有化
- ② グローバル品質保証体制の構築

3. グローバルのモノづくりの効率化推進 – 歩留り100%へチャレンジ

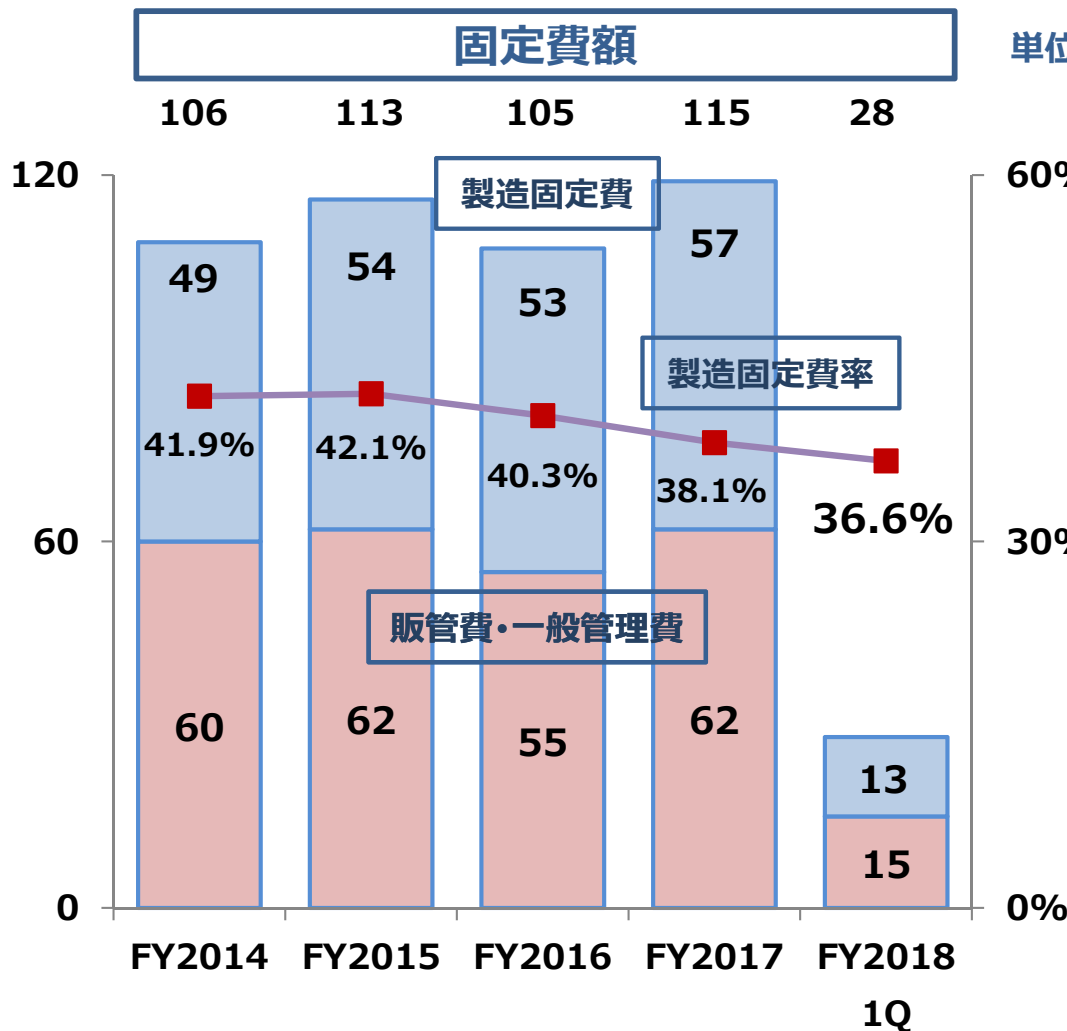
- ① フレキシブル生産工場の実現（0～24H稼働工場）
- ② ロボットによる生産拡大

4. グローバルシステムの強化

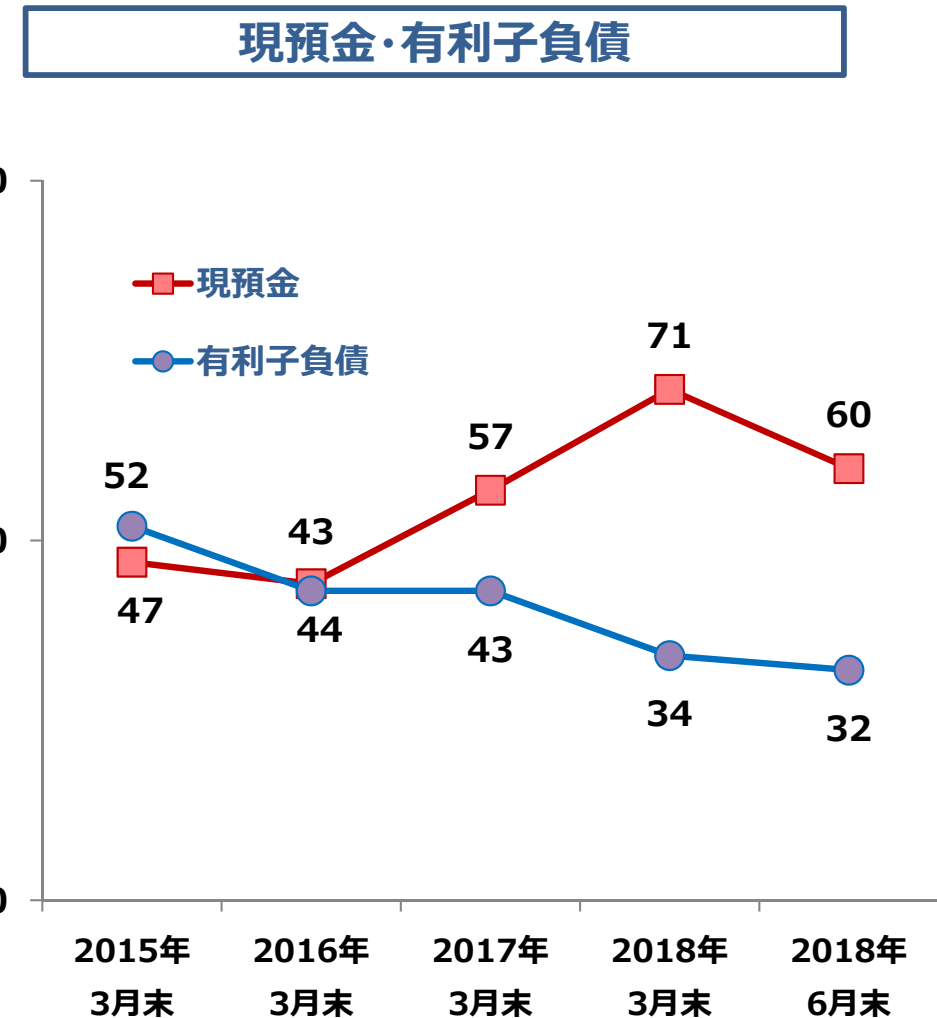
中期経営計画 構造改革/財務体質強化

固定費比率 2014年度比 5.3ポイント低下

現預金 60億円 > 有利子負債 32億円



単位：億円



ご清聴ありがとうございました

(第2四半期決算発表日 2018年11月5日(月) 15:00予定)

※注意事項

本資料は、2018年8月6日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畑 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp